

2024
1
January
Vol.94

SNSで旬な情報を
投稿しています



JAしまねびより

特集

2024年

も

農業の伸びしろたっぷり！

辰



©よい食P



こくしょうこくさん

可一つけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers

松本 悠太さん
[くにびき地区本部]

JALしまね 西いわみ地区本部版

初春のお慶びを申し上げます

役員一同



代表理事組合長
石川 寿樹

新年あけましておめでとうございませす。謹んで新春のごあいさつを申し上げます。令和6年の年頭にあたり、組合員の皆様から旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行した結果、経済・社会活動はコロナ前の姿を取り戻しつつあります。JAしまねにおきましても、通常総代会や農業まつりなどの各種イベント、JA青年組織・女性組織や生産部会の総会等も通常開催となりました。一方で、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻といった世界の混乱による物価高騰や急激な円安によって、燃油や飼料・肥料などの生産資材価格の高止まりが依然として続いており、農家経営は非常に厳しい状況となっております。

こうした中、JAしまねでは各地区本部の営農担当者が国の肥料価格高騰対策事業の申請支援を行い、申請件数

5,128件、支援金額3億1千万円を受け付けました。今後も役員総力をあげて農家支援に取り組んでまいります。

一方、事業運営につきましては、令和5年9月末決算において、計画を上回る成果を上げることができました。しかしながら、当JAの収益を支えてきた信用・共済事業部門の収益は、年々減少傾向にあります。我々JAの使命である農業振興を実践していくためには、盤石な経営基盤を確立することが重要であり、引き続き事業改革の取り組みを進めていく必要があります。

特に、営農経済事業改革では、農機事業において、昨年7月に全農とJAしまねの共同出資による「JA全農島根農機サポート株式会社」を設立し、11月1日より事業運営がスタートしました。今後は、組合員の皆様からの多様な負託に応じていくため、職員の技術向上に努め、IT・スマート農機や大型機械にも対応してまいります。

また、今年度より立ち上げた3つのプロジェクトにつきまして、鋭意取り組みを進めております。

1つ目の「しまねの有機農業・米粉生産拡大検討プロジェクト」では、国の「み

どりの食料システム戦略」に呼応し、持続可能な農業の可能性を拡げるため、これまで有機カボチャや有機米の実証に取り組みしました。今後も有機農産物の生産拡大を目指して、取り組みを進めてまいります。また、米粉振興につきましては、中山間地の水田維持を実現するため、米粉専用品種の試験栽培や製粉事業の検討にも着手しました。

2つ目の「ホームセンター連携検討プロジェクト」では、昨年11月の理事会でジュンテンドーとの連携が決定いたしました。今後は、ジュンテンドーとの協議を進め、組合員の皆様にとってのメリットを最大化できるよう努めてまいります。3つ目の「自動車燃料事業の県域会社化検討プロジェクト」では、事業の継続性と専門性の強化を目的に、県域で一体となった事業展開を進めていくため、会社化準備室を設置し、具体的な検討を進めてまいります。

結びに、組合員の皆様にとりまして、本年が実り多く、健康で明るい年となりますようお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

J Aしまね女性部
部長 高橋 美佐子



新年あけましておめでとうございます。

日頃より女性部の活動に対しご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナ侵攻や円安が進んだことで国内ではさまざまな物価が上昇し国民の生活を圧迫しています。その一方で、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、徐々にコロナ前の活気を取り戻しつつあります。

そのような中、私たち女性部の活動でも「〇年振り」という言葉が聞こえてくるようになりました。昨年7月には4年ぶりに中国四国地区J A女性組織リーダー研修会を、12月には5年ぶりにJ Aしまね女性大会を実開催することができました。これまでWEBでの開催を余儀なくされていましたが、こうして再び部員たちと顔を合わせて対話ができることの喜びを実感しました。

また、コロナ禍で困窮する学生や子どもたちを支援する目的で始めた“米一握り運動”も4回目を迎えました。今年度は2回に分けて行い、現在1回目が終了しました。J Aしまねや鳥根県農協青年組織協議会にもご協力をいただきながら、県内の子ども食堂・フードバンク事業者などに多くのお米を寄贈することができました。この運動にご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年はいくまでの取り組みも大切にしながら、新しい時代の女性組織活動の実践を進め、ますます活力あるJ A女性部ならではの活動を目指してまいります。今年も私たち女性部に変わらぬご指導、ご協力をお願いすると共に皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

鳥根県農協青年組織協議会
会長 古川 敬



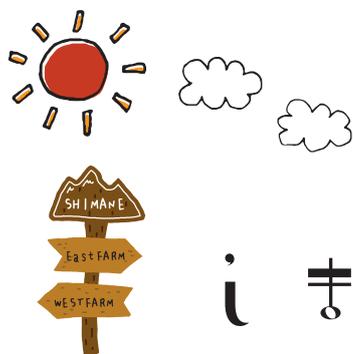
新年あけましておめでとうございます。

日頃より鳥根県農協青年組織協議会（以下、県青協）ならびに鳥根県内盟友の活動において、ご理解とご支援・ご協力頂いていることに対し厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、不安定な世界情勢が続き日本経済は深刻な影響を受け、多くの食料品や生活用品が値上がりいたしました。農業現場においても生産資材や飼料、燃料の高騰や農畜産物の需給ギャップ拡大が経営を圧迫してきております。

このような中、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され「活動を活発に！」とも思いましたが、体力を消耗しているのは県青協も同じでした。各地区での活動も自粛や縮小傾向の流れは残っていましたが、それでも「各単組の総会への参加」、「鳥根県JA青年大会の開催」、「全国大会や中国・四国JA青年大会と研修視察への参加」、「鳥根県農林水産部・JAしまね・隠岐どうぜん若手畜産農家・鳥根県商工会青年部連合会との意見交換会の開催」、「国会議員への要請」など、WEBやLINE、SNSも活用しながら県青協として活動してまいりました。これからは農業青年の繋がりを基に、食や農業の大切さ・大変さ・魅力を発信していけるように幅広く意見協力を求め、農業振興や地域振興に繋げていきたいと考え、竜頭蛇尾にならぬよう県青協一丸となって取り組んでまいります。

最後になりますが、盟友の皆様と関係各位の皆様のさらなるご発展とご健勝を祈念申し上げますと共に、実り多き年でありますことをご祈願いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



つけた

しまねのファーマーズ

Shimane farmers



歴史ある八束町の牡丹栽培

まつもと ゆうた 松本 悠太さん(35歳)

今月はくにびき地区本部。松江市八束町で牡丹(ぼたん)の栽培・販売・普及に取り組む松本悠太さんにお話を伺いました。

伝統が途絶える危機感からの決意

島根県と鳥取県にまたがる汽水湖・中海に浮かぶ大根島。ここでは、生産量日本一を誇る牡丹の栽培が盛んです。島内の牡丹栽培は約300年前から始まったとされ、今も数力所の牡丹園が存在しています。

その中の牡丹園のひとつ「松本農園」で、すべての業務に携わる松本さん。20代前半の頃にデザインを学んだ後、地元会社に就職し、社内のあらゆる制作物のデザインをする仕事をしていました。

転職が訪れたのは、当時付き合っていた奥さんの実家へ挨拶に行った時。それまで家業のことは聞いていませんでしたが、松本さんは「服のボタンの工場かな？」と勘違いしていたほど牡丹について知らなかったそう。初めて花であることを知り、さらにお義父さんの「大根島の牡丹栽培は、高齢化によって衰退の一途を辿っている。後継者もおらず、このままでは日本一どころか、生産を続けることも難しい」という言葉に衝撃を受けたと言います。「長年の伝統が途絶える危機感を覚えた」と当時を振り返る松本さん。

その時働いていた会社も、自分たちで生産し、商品を生み出し、販売していく6次産業に取り組んでいたこともあり、今までの知識が何か役に立つかもしれないと、徐々に自分が受け継ぐ決意に変わっていききました。平成23年の結婚を機に大根島へ移住し、1年間の研修を経て、平成25年に松本農園の跡取りとして就農しました。

5年の歳月をかけて育てあげる牡丹

通常、春が見頃ですが、お正月に飾ると縁起が良いとされる牡丹。そのため、ちょうどお正月に花が

咲くよう、冷蔵庫などで寝かせておく抑制栽培を行い、年末に合わせ最も良い状態にする技術が必要とされます。また、牡丹は花を鑑賞できるようになるまで最短でも5年ほどかかり、非常に長い年月をかけて育てられています。

まずは芍薬の台木を2年かけて育て、3年目にその木と牡丹の穂(芽)の接ぎ木を行います。こうすることで、芍薬の力を借りて成長速度を何年も早めることができるそう。そして、さらに2年かけてやっと成木に成長します。松本さんは、「最初は理解するのが難しかったけど、5年の成長サイクルを一通り経験した時によやくコツがつかめてきた」と話しました。

それほど手間暇かけて作られる牡丹ですが、一輪の花を綺麗に鑑賞できるのは約3日間だけ。しかし、その一瞬の華やかな姿は、花火のようにインパクトが強く、ずっと人々の脳裏に記憶として残り続けます。そんな牡丹に魅了されたファンが全国に多くい



牡丹の接ぎ木苗を定植する松本さん



1年で一番忙しいのは年末の時期。お正月に綺麗な花を咲かせるため、気温などを確認しながら出荷作業を行います。

ます。「最初はお客さんに質問されても、答えられなかったんです。悔しさから猛勉強しました」と語る松本さん。今では、誰にも負けなくらい牡丹の知識を積み上げています。

感性と技術を活かしながら 情報発信を

松本さんが牡丹の栽培を始めてから身を持って感じたのは、牡丹に関する情報が圧倒的に少ないことだそう。どんな品種があつて、どういう育て方や管理をしたらいいのかわからないというお客さんも多いのだそう。その要望に応えたいと、ホームページをはじめ、インスタグラムやfacebookなどで情報を発信し続けています。それには、「花が美しく咲く3日間に至るまでの、牡丹のストーリーも知ってほしい」という思いも込められています。前職で培った技術を活かしながら、誰が見てもわかりやすい発信を心がけています。



362種が掲載されているデータベース本「牡丹名鑑」の制作にも参加。表紙は松本さんがデザイン。

体が資本の仕事だからこそ、 子どもと運動で体力作り

牡丹に携わるようになってから、頭の中は常に牡丹のことについてばいだという松本さん。プライベートでは2児の父として、休みがほとんどない中でも、作業の合間に子どもたちと関わる時間を大切にしています。近所の公園でサッカーをしたり、最近では親子でバドミントンクラブに加入したりして週1回汗を流しているそう。

県花をもっと多くの人に 喜んでもらいたい

島根県の県花として位置付けられている牡丹ですが、特に若い人たちにはあまり知られておらず、生産自体も徐々に衰退しています。松本さんは「もっとたくさんの人に見てもらいたい、喜んでもらいたい」と話しました。



牡丹について話す松本さん

最近では、JAと松江大根島牡丹協議会が行う「花育活動」に参加。先日は金沢と京都の小学校を訪問し、自分で作った紙芝居でわかりやすく紹介した後、児童たちと一緒に苗を植えたそう。こうして、周りの人たちとも協力し、全国への発信も積極的に取り組んでいます。今後は、新たな品種を増やし、1,000種類を

育てることが目標。その一方で、江戸時代から農家や愛好家によって伝え続けられた古典品種も大切にしたい気持ちも強い松本さん。「やはり昔の品種は、今の牡丹にはない良さがあるんです」とあらゆる所から古い品種を収集し、種を守り続けています。



松江大根島牡丹協議会の一員として「花育活動」にも積極的に参加し牡丹の魅力子どもたちへ伝えています。

長い年月をかけ、たくさんの方の手が加わることで、心を揺さぶるような情景を生み出す牡丹の花。春にはたくさんの方々が咲き誇る牡丹園を楽しんでもらいたいと、松本さんは日々邁進し続けています。

松江八束大根島牡丹

島根県の県花にもなっている牡丹。八束町での牡丹生産の歴史は約300年と古く、1955年頃には新しい栽培技術が導入され生産量が増えました。現在、大根島では年間約250種類、150万本を生産しています。大輪で色鮮やかな花は国内にとどまらず台湾など海外でも人気を集め、島根県が誇る代表的な花となっています。



プチっと
情報!

辰

しろたっぷり!



功」する年とも言われているそう！
続く中、龍が空を昇るように力強く困難を乗り越え、目標に向かって突き
(辰) ぷりにお話しいただきます！

雲南市大東町 雲南地区本部

藤原 潤さん(37)

主に綿花を栽培しています。周年出荷ができる栽培体系をとるために、昨年からは綿花の他にカリフラワーなど3品目の野菜栽培を始めました。全ての品目が栽培期間中、農薬・化学肥料不使用です。今後は有機JAS認証取得を目指します。



隠岐の島町 隠岐地区本部

村上 淳一さん(42)

現在、島の香り隠岐藻塩米を生産しています。今年の目標は、味や品質面では決して他に引けを取らない島の香り隠岐藻塩米を皆さんに知っていただき全国区のブランドにすること。さらには海外の方にも食べていただいで、輸出にもつながっていきたいです。



斐川町 斐川地区本部

農事組合法人かわひがし
(井上富雄組合長)

米や麦、大豆の土地利用型作物を中心に、キャベツやサツマイモ、枝豆、たまねぎ苗など5品目の園芸作物にも力を入れています。所得の向上と水田園芸の振興につなげるため、今年産の収穫を目指し、たまねぎの生産にも挑戦を始めました。



大田市山口町 石見銀山地区本部

大國 裕紀さん(32)

祖父母の後継者として就農して7年。耕畜連携による稲わら利用促進に取り組みながら、繁殖和牛を25頭飼育しています。現在、家畜人工受精師資格の有効活用を目指して勉強中です。牧草地を拡充、増頭して、肥育にも挑戦したいです。



益田市遠田町 西いわみ地区本部

可部 泰成さん(24)

2020年に島根県立農林大学校を卒業後、益田市内の施設農家での研修期間を経て、昨年春から同市内の遊休ハウス4棟を借り受け、メロンとトマトの生産を始めました。学ぶことが多く不安はありますが、部会の先輩に教わりながら技術を身につけ安定経営を目指したいです。



2024年

も

農業の伸び

新年あけましておめでとうございます。

2024年は辰年🐉古くから縁起が良いとされている辰(龍)にちなんで「上昇」や「成
そんな2024年第1号の特集では、生産資材価格の高止まりなど厳しい状況が
進む農業者の皆さんをご紹介します😊将来の目標や頑張っていることなど伸びしろたっ

松江市八幡町
くにびき地区本部

渡部 卓也さん(46)

2022年1月に独立し、イチゴ農園を経営しています。よりおいしいイチゴを目指して、本来の甘味、酸味、香りが出せるよう、愛情たっぷりに育てています。「あそこに行けばおいしいイチゴがある」と思っていただけのようなイチゴを、末永く作っていきたいです。



安来市伯太町
やすぎ地区本部

長野 倫樹さん(28)

寺田農園で高品質な牛乳を生産し、地域の方々や学校給食の安心安全な健康と食文化を支えるため、日々頑張っています。厳しい酪農情勢ですが、次の世代に繋げていけるよう、さまざまな取り組みを通して、持続可能な酪農家を目指します。



西ノ島町
隠岐どうぜん地区本部

道前遼太郎さん(27)

東京農大卒業後、アメリカへの留学、鹿児島での農家研修を経て2023年7月に西ノ島町に帰郷しました。現在は家族で繁殖牛を約110頭飼育しています。学んできたことや同町の放牧を最大限活用しながら、500頭規模に拡大する夢を持って、頑張ります。



出雲市大社町
出雲地区本部

谷口 太一さん(39)

ぶどう農家として新規就農を目指し、現在は研修を受けています。自分が栽培した作物で食べた人を感動させたいという想いから、勤めていた会社を辞めて就農を決意しました。今年は就農に向けて研修最後の一年。自信を確信に変える年にしたいです。



美郷町
島根おおち地区本部

木村 陸さん(20)

島根県立農林大学校を卒業後、地元に戻り昨年の春から就農しています。これから失敗もしながら経験を積んで、経営の安定を図りたいです。そのため、今栽培しているミニトマトの収量アップを目指して、日々全力投球で頑張ります。



浜田市吉地町
いわみ中央地区本部

吉岡 健児さん(31)

岡山県で2年間、椎茸農家のもとでの修業を経てUターンしたのち、2023年に就農しました。僕には「伸びしろ」しかありません。生産者は減少していますが、産地復活に向けて微力ながら頑張っていきたいです。バモス！



topics
1

島根県協同組合連絡協議会学習交流会を開催



島根県内の協同組合5団体で構成する島根県協同組合連絡協議会は12月11日、松江市の島根県林業会館で令和5年度島根県協同組合連絡協議会学習交流会を開きました。構成団体の役職員ら41人が参加。県内外の事例などから、人口減少が続く地域の課題に対して協同組合間の連携で何ができるか探りました。

当日は、地域連携について研究する島根県立大学地域政策学部准教授の田中輝美さんが『共存同栄』の未来に向けて」をテーマに講演。田中さんは浜田市金城町美又地区で「農協さん」の愛称で親しまれていた同JAいわみ中央地区本部の建物を活用し、地域の拠点づくりに取り組んでいます。講演では、外の仲間（関係人口）とのつながりが、人口減少時代における魅力的な地域・組織づくりになると話しました。

また、日本協同組合連携機構（JCA）の青木寛さんが全国の協同組合連携の取り組みの他、同機構の調査により島根県は協同組合の加入率全国1位であったことを報告しました。



興味深く講演を聞く参加者ら

調査によると…
JCAの

島根県は、もっとも協同組合が利用されている県
島根県は、もっとも色んな協同組合が利用されている県
島根県は、もっとも協同組合が知られている県
島根県は、もっとも協同組合が役に立っている県
島根県は、もっとも協同組合の職員が親切な県



このことから「島根県は、もっとも協同組合が地域とつながっている県」と評価されました

topics
2

中国・四国地区JA青年大会に盟友2名が出場！

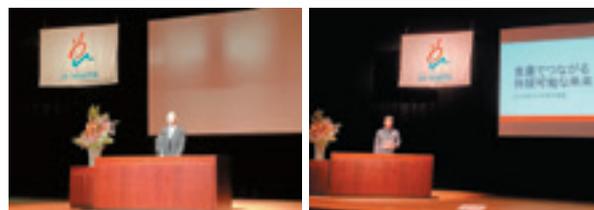


11月16日に広島市で「中国・四国地区JA青年大会」が開催され、県代表として「JA青年の主張」にくにびぎ青年連盟の野津喜洋さん、「JA組織活動実績発表」ではやすぎ青年連盟の佐藤明次さんが出場しました。

野津さんが発表した「委員長はつらいよ。でもやってよかった～！」がJA青年の主張で優秀賞を受賞しました。

野津さんは、自身が9年間にくにびぎ青年連盟の委員長を務めた中で得たことを発表。人前に立つことが苦手だったが克服できたことや、大切な仲間ができたこと、経験値の向上と交友関係の広がりにつながったことを挙げ、他の人のために努めることは自身を成長させると呼びかけました。

佐藤さんは「食農でつながる持続可能な未来」をテーマにやすぎ青年連盟で取り組んでいる、「JA新入職員農業実習と女性部との連携による地元保育園児とのサツマイモ栽培体験」について発表。「なんかやろーやー」を女性部との合言葉に、より良い農業の実現や地域の発展を目指していることを伝えました。



自分の想いや青年部活動などについて発表した野津さん（写真左）と佐藤さん（写真右）

翌日の17日には3つのコースに分かれ、JA西日本営農技術センター、JA全農ひろしま和牛TMRセンター、生産者圃場などを視察しました。

topics
3

令和5年度産あすっこ出荷協議会を開催



JAしまねは11月14日、出雲市斐川町の同JA営農経済本店で令和5年度産あすっこ出荷協議会を開きました。山陰を中心とした6市場の関係者やJAアグリ島根、JA担当者らが出席し、本年度産の状況や市場情勢、出荷規格、出荷方法、販売対策などについて協議しました。

「あすっこ」はブロッコリーとビタミン菜を交配させて誕生した島根県オリジナル野菜。葉や茎など全て食べることができ、苦みやクセがないため子どもにも人気があります。

市場からは「年々認知度が高まっており、スーパーや学校給食、保育園などからの需要も多いが、出荷量が少なくお客様のニーズに応えられない。産地の作付けを増やしてほしい」と要望が集中しました。

同JA本店園芸販売課の西尾一俊課長は「もっと認知度が高まるよう試食宣伝など努力を続ける。併せて、ニーズに応えるため作付け増に力を入れていきたい」と意気込みました。



【あすっこ豆知識】

「あすっこ」は平成15年に誕生し、平成19年度産から本格的に販売を始めました。県オリジナル野菜として戦略的に取り組むため「あすっこ」の名称は商標登録され、他県への流出・使用を防止するという知的財産保護の措置を講じています。本年度産は11月中旬から出荷が始まっています。県内各地のスーパーなどで販売していますので、ぜひ手にとって食べてみてくださいね😊❤️

[あすっこレシピ動画はこちら](#)



あなたもチャレンジ! 家庭菜園 春まきキャベツ

育苗管理が肝心

キャベツなどのアブラナ科野菜は夏まき栽培が一般的です。しかし、低温期に種まきをする春まき栽培では、早期に花茎が伸びて収穫できないことが起きます。適切な品種を選び、苗作りでの温度管理を上手にすれば、初夏に収穫する作型を成功させることができます。

品種

とう立ちしにくい晩抽性と収穫期の高温を避けられる早生性を兼ね備えた品種を選びましょう。

柔らかくジューシーな春系の「春波」(タキイ種苗)、「中早生二号」(サカタのタネ)などがおすすめです。

苗作り

発芽温度は、おおむね5~35度で、適温は20~25度です。その後の温度は、日中15~20度、夜間5~10度を確保します。そのため、トンネル内に温床マットなどで温床を作り、最低10度を目安に加温しますが、日中は25度以上に上がらないように換気をします(図1)。7.5~9cmポリポットに3、4粒まきし、本葉2枚で1本とし、本葉5、6枚の大苗に仕上げます(図2)。

畑の準備

畑1平方m当たり苦土石灰100g程度をまいて、よく土を耕します。畝幅70~80cm、深さ20cmの溝を掘り、この溝1m当たり堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分10%)100gを施し、土とよく混ぜて畝を立てます(図3)。

植え付け

時期はソメイヨシノが開花する頃(気温10度以上)に、株間40cmに植え付けます(図4)。

追肥

結球期まで肥効が残らないように、定植後2週間程度で株の周りに化成肥料を1株当たり10gくらいまいて、株元に土寄せします。

病害虫の防除

気温が上がるとアオムシ、コナガの発生が多くなるので、BT剤などで防除します。

収穫

球が固く締まる前に早めに収穫します(図5)。

図1 加温育苗

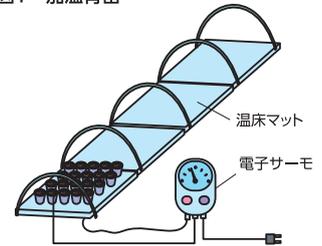


図2 苗作り



図3 畑の準備

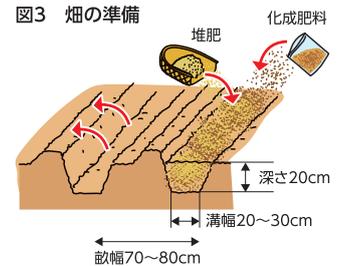


図4 植え付け



図5 収穫



栽培カレンダー (春まきキャベツ)

	1	2	3	4	5	6	7
冷涼地		●	▲	▲	▲	▲	■
中間地		●	▲	▲	▲	▲	■
暖地	●	▲	▲	▲	▲	▲	■

●種まき ●---●苗作り ▲植え付け ▲---▲生育 ■収穫

理事会情報 (11月29日開催)

【協議事項】

- ①令和6年産島根米生産に係る考え方について(品種別作付計画)
- ②生産資材事業におけるHCCとの連携について
- ③自動車燃料事業の会社化について
- ④雲南地区本部の経営改革について
- ⑤令和5年度末決算見込(第1次)について
- ⑥中間期ディスクロージャー誌2023について
- ⑦組合と理事との取引(契約)の承認について(都度承認分)

- ⑧今後の役員体制について
- ⑨総代定数のあり方にかかる 総代・組合員への説明について
- ⑩役員視察研修の考え方について
- ⑪確定給付企業年金規約の一部改正について
- ⑫勤務管理システムの更新について
- ⑬役員退職慰労金の支給について
- ⑭新人事制度導入に向けた今後の進め方について

理事会情報 (12月22日開催)

【協議事項】

- ①東・中部集約米倉庫建設計画の見直しについて
- ②有機多目的倉庫の新設について
- ③令和5年産島根米の追加金について
- ④広域施設利用玉ねぎの腐敗等による廃棄に対する生産者支援について

- ⑤子会社等への役員の推薦及び派遣について
- ⑥大口貸出について
- ⑦第10回通常総代会および記念式典の開催について
- ⑧令和6年1月からの専門委員会の委員選任について
- ⑨島根県常例検査書(いわみ中央地区本部)の回答について



新年のグー挨拶

J Aしまね西いわみ地区本部
常務理事 本部長

田村清己



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

J Aしまね西いわみ地区本部の運営につきましては、平素より営農経済事業や信用共済事業、健康管理活動など、全般にわたり格別のご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は総代改選の年となりました。総代の役割の一つに地域の組合員の意見や要望を聞き、J A運営にご意見や要望を伝えていただく重要な役割があります。新総代の皆様には向こう3年間のご活躍をご期待申し上げます。

振り返りますと、コロナ5類移行や長引くロシア・ウクライナ戦争、イスラエル・パレスチナ問題、地球温暖化による水稲を始め農畜産物への影響、これらが複雑に関連した農業生産資材の高騰や酪農・畜産問題など不確実性が蔓延する様相となっております。今こそ持続可能な社会づくりの「原点・本質・本気度」が問われて

いると思います。

明るいニュースもありました。J A全農主催の「J A資材店舗CS甲子園2023」で益田グリーンセンターが大型陳列部門で優勝と特別賞（一昨年は優勝、昨年は準優勝。）を受賞することができました。驚くべき点はコンサル業者などの指導を受けず、職員の知恵と努力で獲得したことにあります。今後も多くの皆様のご来店をお待ちしております。

また、メロン栽培50周年となる記念大会を盛大に挙行することができました。販売額も4億円を突破し、生産者の皆様はもとより、市場関係者の皆様、島根県や益田市の行政関係者に厚くお礼申し上げます。今後、「益田アムスメロン」の名を更に高めたく地理的表示（GI）保護制度の取得に挑戦します。

業務体制では、皆様のご理解ご協力のもと、6支店構想の実現と益田中央支店を核とした市街地での来店いただける金融店舗づくりを進めました。事業所となった支店について、「ふれあいプラザ」と

位置づけ、地域のつながり維持、よりどころになれるよう進め、信頼と持続可能な強いJ Aづくり、農業・地域共生の未来づくりへ役員一丸となつて取り組みます。

新営農センター構想に基づく農業振興をすすめる、信用共済事業を通じて暮らしや生活を守るとともに、農業部門では消費者への安全安心な農産物を提供するフードシステムの確立、厳格な出荷体制の構築や肥料農薬などの適正利用の推進を通してブランド力の強化、小規模農家を通じた大規模市場と対等に取引できるJ Aとしての役割発揮を目指します。

年頭に当たり「更にあてにされ、頼られるJ Aづくり」をすすめる「農協に行けば何とかなる、何とかしてくれる。」と言われるようお願いいたしますと共に、組合員および皆様方の今年一年のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



第4回日原支店年金友の会総会

J Aしまね日原支店年金友の会（橋本正嗣会長）は12月2日、津和野町立日原小学校体育館において会員120人が参加して、第4回日原支店年金友の会総会を開催しました。

開会にあたり橋本会長は「我々年金受給者は現役を引退し、年金を主な収入源として生活する中で、毎日退屈することなく健康で有意義に人に迷惑をかけず、少しでも町のため県のためそして国のために役立つことができればと思う。一番大切なことは健康でなければ何もできない。健康で有意義に過ごすためにも、こうして年金友の会の集まりがあれば出かけていく、自治会の活動があれば出かけていくというように、常に行動的に活動的に前に出て、少しでも世間との関わりを持つことが必要。この会のメンバーがいつまでも元気で楽しく有意義な日々を送れるよう、年金友の会としての活動も更に充実していかなければならない」と挨拶しました。

J A挨拶を地元選出の中村力理事が行い、公務ご多用の中ご出席いただいた下森博之津和野町長より来賓の挨拶をいただきました。

続いてJ Aしまね日原支店芝田剛支店長がマクロ経済スライドの発動によって、3年ぶりに年金の振り込み額が増額となったことなど情勢を報告し、日頃窓口等で接する機会の多い支店職員の見聞を行いました。その後行われた役員改選では橋本会長以下役員全員が留任し、参加者全員で大会の申し合わせ事項の唱和を行いました。

閉会の挨拶を椋木鉄也統括部長が行い、休憩を挟んで上演されたアトラクション鹿島芸能による久しぶりの踊りや唄・人情劇に会場は盛り上がり、参加者から大きな拍手が送られました。



下森博之町長来賓挨拶



橋本正嗣会長挨拶



市川富士夫座長





令和5年度 第2回西いわみ地区本部総代説明会

J Aしまね西いわみ地区本部（田村清己本部長）は12月7日、益田市市民学習センター多目的ホールにおいて、本店常勤役員日高光弘代表理事専務、田中徹常務理事、地区本部から中村力理事、西川友史理事が出席し令和5年度第2回総代説明会を開催しました。

改選後初めての総代説明会は、最初に総代研修会を行い各事業部門の進捗状況等について説明を行いました。

Q 齋藤 学総代（六日市地区） 六日市カントリーエレベーターについて

カントリーエレベーターの件に関して役員挨拶の中で修繕更新計画があったが、継続的な更新計画というものが抜けてはいないか。場当たり的な話ではなく将来的なものの考え方も含めて検討していただきたいと思う。以前から発言してきた者として一つ前進したとほっとしている。



齋藤学総代(六日市)

A 関連してカントリーエレベーターの運営について、急遽土日の集荷は出来ない、10月何日で受け入れを打ち切るといったことがあり組合員が混乱した。受け入れ期限が切られ法人がコンバインを2台入れて大急ぎで刈り取りを行ったという実例もあった。農家へのアナウンスはどういう方法で行ったのか。

Q 寺戸 倉雄総代（匹見地区） 産直コーナー・道の駅構想について

益田道路整備事業における道の駅構想の話が出ていたが、その中に産直コーナーを設けることができるのか説明していただきたい。



寺戸倉雄総代(匹見)

A 約10年前益田市における区画整備事業の中で道の駅構想があり、その中に産直コーナーを設ける計画で、市からJAに対し協力要請があったように記憶しています。現在の区画整備事業の中では、防災公園として整備されるよう変更されており、道の駅構想は無くなっております。



高藤和巳総代代表(津和野)



又賀保総代副代表(益田)



日高光弘代表理事専務

益田市、益田市議会へ 要望書を提出

益田市農政会議（岩本和雄会長）とJAしまね西いわみ地区本部（田村清己本部長）は11月28日、山本浩章益田市長と、福原宗男同市議会議長に「令和6年度益田市農業関係政策・予算に関する提案・要望書」を提出しました。

岩本会長は農業機械更新時の助成、飯田選果場の改修に対する支援措置、鳥獣害対策を要望し、山本市長は「市として協力したい。個々の要望について内容をしっかりと精査して解決していけるよう努力していく」と回答しました。

また、福原議長は要望に対し「現状は十分に理解している。消費者への農業理解の促進も踏まえ、今以上に農政会議の活動を頑張ってもらいたい」と答えました。





令和5年産益田メロン出荷反省会

J Aしまね西いわみ地区本部と益田メロン部会（大場尚俊部会長）は12月12日、同地区本部会議室において令和5年産益田メロン出荷反省会を行いました。



大場部会長

開会の冒頭大場会長は「益田メロンの販売金額が4億円を超えたことは、部会員個々の日頃の努力と、関係機関の皆さんのご協力のお陰だ。今年も天候不順・猛暑と決して楽な年ではなかったが、徹底した日頃の栽培管理によって良い成績を収めることができた。出荷計画に沿った収穫出荷を徹底することで市場評価を高め更に上を目指したい」と挨拶しました。

10アールあたりの反収が最も良かった飯田町の松本貴之さんが、夏作・秋作共に優績者表彰を受け「ハウスの1棟1棟と自らが向き合い、土の質や秀品率等のデータを採るようにしている。メロンは作る事ができて当たり前、自分の土地を知ることが大事」と優績者発表を行いました。



見事単年度3部門表彰を達成した松本貴之さん

松本貴之さんはアムスメロンの反収においても優績者表彰を受けており、単年度3部門表彰は益田メロン部会初の快挙となりました。

令和5年産益田メロンの実績は、アムス24,627万円、夏作アールス6,233万円、秋作アールス9,237万円でした。

益田市西部農事組合法人連携協議会 令和5年度総括意見交換会



総括する意見交換会を行いました。

J Aしまね西いわみ地区本部の担当TACのほか、島根県西部農林水産振興センター益田事務所農業部、益田市農林水産課の職員がオブザーバーとして出席し、病害虫対策等技術に関する事項や、大規模農業者に対する大型規格資材の紹介など情報提供を行いました。

各組織から複数人が出席し行っていたこの会も、新型コロナウイルス感染症の発生と同時に出席人数を各組織の代表1人に限る形に変更しました。

主要作物の収穫作業を終え各組織が決算を迎えるこの時期、1年を振り返りお互いの状況を確認することで有効な組織間連携を模索する「情報交換の場」として毎年開催しています。

この日も各組織における今年産水稲・大豆の報告を行い、今後に向けた収量確保対策等について意見を交わしました。



J Aしまね西益田支店管内の8法人で組織する益田市西部農事組合法人連携協議会（松本要代表）は12月1日、同支店会議室において令和5年度を



農産物品評会・新穀感謝市開催

11月23日に太鼓谷稲成神社「新嘗祭」協賛行事として、「第56回農産物品評会・第24回新穀感謝市」がJAしまね日原・津和野支店共催で開催されました。津和野町農業青年クラブと女性部津和野支部の餅つきや、農家のみなさんの焼き栗・里芋まんじゅうなども販売されました。神社本殿前では津和野太鼓の奉納も行われ、来場されたみなさんから大きな拍手が送られました。今年は天候も良く、賑やかな新嘗祭となりました。



第77回木部敬愛文化祭の開催

から大きな拍手が送られました。文化祭の締めくくりに石見神楽や餅まきもあり、最後まで賑わいました。



木部地区文化祭実行委員会と木部公民館は11月26日、第77回「木部敬愛文化祭」を開催しました。木部小学校の体育館では学習発表会や歌、踊り等多くの出演があり、なかでも小学校児童による地芝居は「地域の伝統を引き継ぐもので、学校と地域が一体となっていると感じた」との意見もあり、来場者





まちむらネットワーク

J Aしまね西いわみ女性部グラウンドゴルフ親睦交流会

J Aしまね西いわみ女性部
 (元岡タツ子部長) は11月24日、
 益田市美都町のひだまりパーク
 において、管内の女性部員
 80人が参加して「第7回J Aし
 まね西いわみ女性部グラウンドゴルフ親睦交流会」
 を開催しました。



元岡部長の開会挨拶、中村力理事のJ A挨拶に続
 き、ひだまりパークみとの長岡邦政社長からプレー
 中の注意事項・コースルールの説明を受け、参加者
 は14組に分かれて2ラウンドプレーにより成績を競
 いました。

参加部員
 は日頃経験
 を積まれた
 方から初心
 者の方まで
 成績にこだ
 わることな
 く、部員相
 互の親睦を
 深めること
 ができた楽
 しい交流会
 になりました。



第1回J Aしまね西益田支店グラウンドゴルフ大会

J Aしまね西益田支店(大石誠支店長) は11月29日、益田市
 美都町のひだまりパークみとで第1回グラウンドゴルフ大会を
 開催しました。

これまで各支店・事業所単位で開催していた大会も、支店再
 編によって西益田支店が基幹支店となった中西事業所、匹見事
 業所管内の皆さんも参加し総勢84人の大会となりました。

天候を気にしながらの進行でしたが、全コース終了まで降雨
 に見舞われることなく予定した3ラウンドを楽しんでいただく
 ことができました。





JAMINI デイサービス

J Aしまね西いわみ女性部下本郷支部（小方美津子支部長）は11月19日、益田市下本郷町の下本郷ふれあい会館でミニデイスービスを実施しました。

講師を招いて、「リズムであそぼう」と題して、音楽に合わせて体を動かしたり、家の光を活用した「折り紙で作る 箸置きとミニゴミ箱」にチャレンジしました。

昼食は「開運お節」など食に関する情報が豊富に掲載された同誌12月号を参考にして、ミニおせちやハンバーグを食べて楽しいひと時を過ごしました。



つわのわんぱくらんど食育の総仕上げ「餅つき」



↑園児たちから「重たい」「おもしろい」など様々な声が聞かれる中、青年クラブのメンバーに支えられながら全員が楽しく餅つきをしました。

←つき上がった餅は皆で丸め、餡子やきな粉、醤油の味付けをして全員で食べました。



最後に餅まきがあり体育館には賑やかなしゃが声がかかっていました。

津和野町農業青年クラブ（齋藤優作会長）は12月8日、津和野町民体育館で同町内の保育園の園児や保育士、保護者など55人が参加して、恒例となったつわのわんぱくらんどの餅つきを行いました。

この日は園児たちが田植えや収穫の体験を行った米原孝男さん（同町中原地区）の圃場で収穫されたモチ米を使用し、女性部の協力で事前に蒸しあがった4升のモチ米を、園児全員が2回に分けて順番についていきました。



内谷地区とちの実交流会

益田市匹見町内谷地区のとの実会（村上巴代表）は11月27日、石谷老人福祉センター・旧石谷小学校体育館を会場に「との実交流会」を開催しました。

この交流会は今年で24回目を数え、益田市立匹見小学校の3・4年生の児童4人と関係者等28人が参加し、との実の皮剥きや杵での餅つきを体験しました。

村上代表から「へし」と呼ばれる道具を使って行う皮剥き作業の手ほどきを受けた児童たちは、慣れない道具の扱いに苦慮しながらも、綺麗に剥けた実を見せ合っては互いに称え合っていました。

アク抜きまでの作業を体験した後、準備されていたもち米も蒸し上がり、ヨモギ餅・とち餅をそれぞれ杵でつき上げ、会の皆さんと一緒に平餅・餡子餅に仕上げていきました。

昼食は朝早くから会の皆さんによって準備された、地元の食材を使った酢物・豚汁・炊き込みご飯と、つくたての餡子入りとち餅とヨモギ餅を参加者全員でいただきました。

最後に学習発表会で行った劇を、小学生の皆が披露し午前の部を終了しました。

人口減少が続く内谷地区では、このイベントが人と人とを結びつける有効かつ大切な交流の場として位置づけられ、主催者も参加者も毎年この日を心待ちにしています。



「へし」を使って皮剥き体験中
皮剥きが終わった実はこの後木灰と混ぜ合わせ、最も重労働とされるアク抜きの作業（清流に浸す等）を経て風味ある山の食材へと変わります。



会場の参加者にクイズを出題し、回答することで匹見地区の素晴らしさを共有できる劇でした。

内谷地区の人口が最も多かった昭和30年代には、約85戸250人以上の人が住んでいましたが、現在では多くの人が地区外へ移り住み、上内谷集落に至っては休日を利用して休耕田の草刈に帰る人が数人いるだけで、住人は村上峰雄さん・巴さん夫婦の二人だけになっています。

「体力が続く限り、とち餅が食べたいと言ってくれ人がある限り、この交流会を続けたい」と代表の村上巴さんは話します。標高500メートル近い山間に賑やかな子どもたちの声が響いた一日でした。



令和4年産島根米の精算結果について

ＪＡしまねでは、生産者の皆様から出荷いただいた「令和4年産島根米」を以下の考え方によって、買取手法を取り入れた会計管理を行っています。

1. 集荷数量が確定する6月末までに販売した残数をＪＡが時価相当額で買い取る。
2. 出荷時の「仮単価」と上記1をもって精算を約1年に短縮する。
3. 販売代金・経費の情報開示による透明性の確保と端額を除き全額精算する。

つきましては、6月末までの販売分について会計管理（共同計算方式）を行った結果、精算可能財源が確保されましたので、以下のとおり最終精算金をお支払いするとともに、精算概要についてご案内申し上げます。

(税込)

収入・支出項目		単位	合計
販売数量		トン	2,377.32
収入	販売代金	円/60kg	12,942
	その他	//	203
	合計 A	//	13,145
支出	仮単価・追加金支払	//	11,438
	流通・保管等に係わる経費	//	523
	事故処理経費	//	0
	手数料	//	12
	生産・集荷・販売等に係る経費	//	105
	需給調整経費	//	0
	監査委員会費用	//	1
	その他	//	56
合計 B		//	12,135
収入－支出 C = A - B		//	1,011
都度精算 D		//	415
共計事業預り金残高 E = C - D		//	596
翌年産共計繰越 F		//	12
最終精算金 G = E - F		//	584

※四捨五入のため、内訳と合計が合わない場合があります。

○最終精算振込日 令和5年12月5日

西いわみ農業青色申告会加入募集

青色申告を基礎とした税務、経理及び経営の研究を行うと共に、農業経営の合理化と農業経営の健全な発展に寄与することを目的とする、「西いわみ農業青色申告会」へ加入しませんか？



●年会費：3,000円

●主な活動内容

☆税務研修会の開催

☆青色申告に関する情報提供

●お問い合わせ

JAしまね西いわみ地区本部

営農経済部 営農企画課

TEL：0856-23-1911

お詫びと訂正

しまねびより12月号において、掲載の記事に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。
19ページ「西部地区子牛共進会」 (誤) 佐々木美恵 (正) 佐々木恵美



期限切れ廃棄農薬回収のご案内

回収実施日 令和6年2月6日(火)

回収時間 午前9:00~11:00

●回収対象農薬

- 毒・劇物／粉剤・粒剤・水和剤・液剤
- 一般物／粉剤・粒剤・水和剤・液剤
- くん蒸剤・くん煙剤
- 空ビン・空容器等



●回収指定場所

益田市	J A 営農指導センター
	J A 美都事業所
	J A 匹見事業所
津和野町	J A 津和野経済センター
	J A 日原支店
吉賀町	J A 柿木事業所
	J A 六日市支店

期限切れ廃棄農薬の分別方法

毒・劇物
・粉剤
・粒剤
・水和剤

一般物
・粉剤
・粒剤
・水和剤

毒・劇物
・液剤

一般物
・液剤

くん蒸剤
くん煙剤

不明物

空容器

- ・プラスチック容器
- ・ガラス空ビン
- ・くん蒸・煙空缶
- ・ポリ缶
- ・ブリキー斗缶

必ず上記のように分別して、それぞれダンボール箱に入れて下さい。ダンボール箱には、分別名と氏名を記入して下さい。
【法律により、廃棄物を運搬する車両には、表示が必要です。】
 ※各経済店舗にて表示用マグネットシールを販売しています。

処理経費は1kgあたり440円(税込)の予定です。
 回収日の回収時間以外は引き取りはいたしません。

※委任状を書いていただきますので、必ず印鑑(引落しを行う通帳のもの)をご用意ください。

お問合せ先／JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部 経済課 0856-23-0933

益田税務署からのお知らせ

確定申告会場設置期間は2月16日(金)から3月15日(金)まで

※2月1日(木)~2月15日(木)は当日の入場整理券を配付し還付申告の相談等を受付けます。

申告会場の受付時間は午前8時30分から午後4時までです

土曜・日曜・祝日の執務は行っていません

申告と納税は期限内に!

所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告・納税は
3月15日(金)まで

個人事業者の消費税及び地方消費税の申告・納税は
4月1日(月)まで

便利な振替納税をご利用ください

【令和5年分の振替日】

【所得税及び復興特別所得税】
4月23日(火)

【消費税及び地方消費税(個人事業者)】
4月30日(火)

スマホから確定申告

確定申告会場への入場には!

1 「入場整理券」

確定申告会場の混雑緩和のため

会場への入場には「入場整理券」が必要です。

※確定申告会場では、マイナンバーカードのほか、利用者証明用電子証明書及び署名用電子証明書のパスワードが必要です。

2 「入場整理券」の配付

入場整理券は、LINEを利用して事前発行ができるほか、申告会場でも当日配付も行います。

※国税庁LINE公式アカウントを友だち追加してください。

友だち追加はこちらから!



※令和6年2月6日から運用開始

スマホ申告の便利機能♪

1 スマホ専用画面(国税庁HP)

給与所得、雑所得や一時所得がある方など、多くの方が「スマホ専用画面」をご利用いただけます。

申告書の作成はこちらから!



2 スマホカメラで読み取り!

給与所得の源泉徴収票をスマホで読み取り!

スマホで撮影するだけで自動入力!



※税務署の確定申告会場で不動産の売却や贈与税の申告相談を希望される方は、3月1日から3月15日までの火曜日から金曜日にお越しください。

詳しい情報は国税庁ホームページへ **国税庁** で **検索**

問い合わせ先／益田税務署 TEL(0856)22-0444(代表)



にしいわみひろば
読者の川柳

お題「しめ飾り」

3月のお題は「旅立ち」です
ご応募お待ちしております

- お正月 やつぱりかざるよ しめ飾り (益田市 加治イトヨさん)
- しめ飾り いい年しよう 心から (益田市 野村 芳子さん)
- しめ飾り 口をよがめて 左衽い (益田市 岡崎 雄一さん)
- しめ飾り 良い年願い 玄関に (益田市 喜村 信江さん)
- しめ飾り 作って見たいと 孫が言う (益田市 小笠原かよみさん)
- しめ飾り 五穀豊穡 願いつつ (益田市 加藤 富之さん)
- しめ飾り 飾れぬ故の 淋しさよ (益田市 大谷 恭子さん)
- しめ飾り かけて家運と 健康祈る (益田市 村上登美子さん)
- しめ飾り 孫が作った しめ飾り (益田市 椋木 節子さん)
- しめ飾り かざれるこの年 幸せだ (益田市 椋 貴美子さん)
- しめ飾り 父の作りし しめ飾り (益田市 両見かすみさん)
- しめ飾り 和風、洋風 いろいろあるね (益田市 宅野ミツ代さん)
- しめ飾り 受け継ぎ習う しめ飾り (益田市 柳井 文江さん)
- しめ飾り 年の栄えを 祈りつつ (益田市 重田 伸子さん)
- しめ飾り かなわぬ手造り しめ飾り (益田市 竹田 和夫さん)
- しめ飾り 家内安全 宮参り (津和野町 古山 包子さん)
- しめ飾り 懐かしい 懐かしい (津和野町 豊田 往野さん)
- しめ飾り 祈りて飾る しめ飾り (津和野町 斎藤 久衛さん)
- しめ飾り 祈りて飾る しめ飾り (津和野町 高谷喜里栄さん)
- しめ飾り 祈りて飾る しめ飾り (吉賀町 中野 健二さん)
- しめ飾り 祈りて飾る しめ飾り (吉賀町 安富 亮子さん)
- しめ飾り 祈りて飾る しめ飾り (吉賀町 田村 民子さん)
- しめ飾り 祈りて飾る しめ飾り (吉賀町 中村恵巳子さん)

川柳応募方法 ●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。●締切 令和6年2月15日(当日消印有効) ●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 ふれあい課

メガネ・補聴器の専門店 **PARIS MIKI**

1級 眼鏡作製技能士
認定補聴器技能者
移動型店舗 店長 狩野 昭弘

運転用、読書パソコン用、遠近两用でも
メガネ一式
¥13,200~ 税込

「移動型店舗
パリミキカー」
メガネ&サングラス
300本~

お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ **090-6955-1612** へ お気軽にどうぞ

令和6年 **2月度 JA巡回スケジュール** 西いわみ地区

1日(木)	9時~13時	日原経済C	16日(金)	9時半~13時	柿木事業所
2日(金)	10時~15時	Aコープラポ店 (益田東支店)	26日(月)	9時半~13時	津和野経済C
8日(木)	9時~12時	西益田支店	27日(火)	10時~15時	パリミキフェア 美都事業所内(会議室)
	13時~16時	益田中央支店			
13日(火)	10時~13時	六日市経済C	28日(水)	9時半~13時	匹見事業所
14日(水)	9時半~13時	匹見事業所	29日(木)	9時~14時	益田グリーンセンター



参加
無料

農業資金説明会 & 個別相談会



対象者
農業者、集落営農組合、農業生産法人等

開催日時、場所【益田市会場】
令和6年2月1日（木）
14：00～15：30 資金説明会
15：30～16：00 個別相談会
西いわみ地区本部3階会議室

開催日時、場所【津和野町会場】
令和6年2月2日（金）
10：00～11：30 資金説明会
11：30～12：00 個別相談会
津和野支店経済センター2階会議室

開催日時、場所【吉賀町会場】
令和6年2月2日（金）
14：00～15：30 資金説明会
15：30～16：00 個別相談会
六日市支店2階会議室

こんなお悩みありませんか？
・資金の種類がありすぎて、どの資金がいいのかわからない・・・
・機械の更新をしたいけど、低利な資金は無いかなあ・・・
・事業の拡大をしたいけど、運転資金が不足しそうだなあ・・・

資金の種類、特性、仕組み等を分かり易くご説明致します！

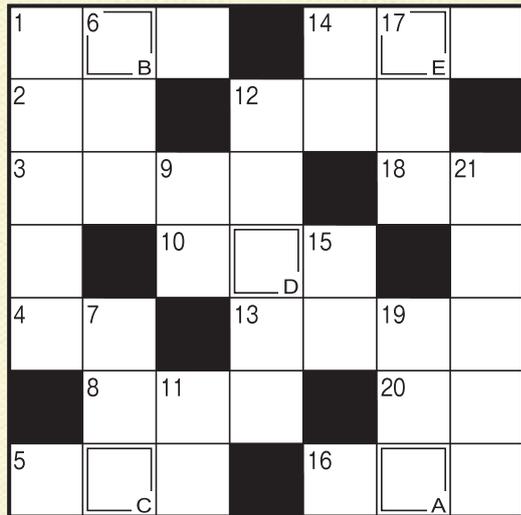
資金説明会、個別相談会を開催致します。参加希望の方はご連絡をお願い致します。
連絡先：JAしまね西いわみ統括支店 ローンセンター
(0856-22-1590) または、お近くの支店まで

※ 説明会・相談会で取り扱ったお客様に関する情報は他の目的への使用を厳禁とし、本説明会・相談会の関連団体以外には一切提供いたしません



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコロ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ①フキの花茎のこと
- ⑥銀世界を眺めて楽しめます
- ⑦ガイド——を片手に観光地を巡った
- ⑨安倍川にして食べようかな、磯辺巻きもいいな
- ⑪日没のことを日の——ともいいます
- ⑫雪だるまを英語（片仮名語）でいうと
- ⑭佐渡島にはこの鳥の保護施設があります
- ⑮漢字には音読みと——読みがあります
- ⑰平方根を表す記号
- ⑲魚偏に「弱」と書きます
- ⑳中国や台湾の旧暦の正月

ヨコのカギ

- ①最低気温が0度より低い日
- ②現代人は電子——に囲まれて暮らしています
- ③水筒に入れます
- ④ヒヒーン!といもなく動物
- ⑤スマホに入れたり消したりします
- ⑧ベッドが2つある部屋
- ⑩頬のこと。——ダンス
- ⑫スラロームやモーグルなどの種目があります
- ⑬人がいっぱいに入っている状態
- ⑭西アジアの国の1つ。首都はアンカラ
- ⑯空気が乾燥しているので——器をつけた
- ⑰節分の豆を——の数だけ食べた
- ⑱実がなるまでの期間が短めの品種のこと

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

J Aしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2024年2月2日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で59人の方からご応募いただきました。

◆ 先月号の答え ◆

「ハツヒノデ」



「家の光」2月号 定価629円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！



佳作
 賀状書く年に一度のラブレター
 人生は片道列車秋風裡
 日のあたる小庭眺めて蜜柑むく
 簸川野を二重に巻きてしぐれ虹
 白鳥の声に振り向く男かな
 出雲市 北村 功様
 出雲市 金山 陽様
 邑南町 三宅伊知枝様
 出雲市 小豆澤典子様
 松江市 岩成 薫様

君ならば出来る大根引くことも
 津和野町 田中とよし様

ココロと何やら楽し木の実かな
 出雲市 中尾真紀子様

偕老の婦唱夫随や年の暮
 出雲市 藤江 堯様

優秀賞

焼餅を一口母の口元へ
 益田市 竹田 数子様

（評）江戸時代石見の代官であった井戸平左衛門は、諸で飢餓より領民を救ったことがある。お母さんが病気であるので、一口母の口元に焼餅をもっていつた良い話であり、親孝行をなさっている。

最優秀賞

俳句の広場
 選句者「白魚火」編集長・副主宰
 安食彰彦先生

J Aしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）2月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
 俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、メールのいずれかでご応募ください。
 ※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
 ※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
 ※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先
 〒690-0887 松江市殿町19-1
 J Aしまね ふれあい福祉課
 「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
 F A X : 0852-67-7708
 Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



家計の負担を抑えたい方必見! JA共済

JAの自動車共済にすると

島根県で約150,000台 = 約4台に1台が

選ばれてます!! JAの自動車共済です!!

えっ!こんなに安くなるの!?

JAの自動車共済ならこの保障内容で “えっこんなに安くなるの” と驚きのご提案ができるかも!?

※車種等によっては共済掛金が安くない場合もございます。

共済掛金例 軽自動車

日産 デイズ
自家用軽乗用車
型式: B43W

車両保障 130万円の場合

車両保障なし	一時払 20,070円
月払 1,790円	
車両保障あり	一時払 39,100円
全損害担保 月払 3,490円	

共済掛金例 普通乗用車

トヨタ ヴォクシー
自家用普通乗用車
型式: ZRR85W

車両保障 270万円の場合

車両保障なし	一時払 14,370円
月払 1,300円	
車両保障あり	一時払 34,200円
全損害担保 月払 3,070円	

(保障内容・ご契約例) 個人契約/共済期間: 12か月/等級: 20等級(事故有係数適用期間0年)/運転者年齢条件: 35歳以上限定保障/記名被共済者年齢階別掛金区分: 40~49歳/車両保障: 有(車両共済金額別掲)、免責金額5万円/対人賠償: 無制限/対物賠償: 無制限(対物超過修理費用保障付)、免責金額0円/人身傷害保障: 3,000万円(被共済者限定特約: 有)/傷害定額給付保障: 1,000万円(標準型: 被共済者限定特約: 有)/弁護士費用保障特約: 有/長期優良契約割引: 有(適用1年目)/ゴールド免許用掛金/自動継続割引: 有/自賠責共済セット割引: 有/新車割引: 有(初年度登録: 令和3年4月)/※各種割引の適用には一定の条件があります。※令和5年1月現在の共済掛金です。

お見積り依頼、お問合せはこちらからお見積りは簡単! しかもJAなので任せて安心です!



お近くの支店・共済担当職員までお気軽にお問い合わせください!

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。 23320320171



JAしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ

JAしまね×洋服の青山・はるやま

店内全商品 割引後価格から更に

10%OFF!!



ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 〈洋服の青山〉松江店・島根斐川店・出雲浜山通店・浜田店・米子本店・三次店
〈はるやま〉松江店・島根三刀屋店・出雲店・島根大田店・浜田店・益田店・米子店・三次店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。 ※洋服の青山ではAOYAMAタイアップカード入会(入会無料)が必要となります。

JAしまね

お問合せ / 本店経済課

TEL : 0853-25-8912



本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。



白菜と豚肉のミルフィーユ&かき玉スープ



コメント

- ・蒸し汁に溶けだしたうまみと栄養もスープにしておいしくいただけます。
- ・耐熱皿に白菜の重ねたものを乗せ、ラップを軽くかけてレンジ(600w)で12~15分加熱しても出来ます。
- ・白菜の厚みのある部分はすりこ木などで叩いておくとの熱の通りが早いです。

アレンジ

- ・豚肉を鶏ミンチに代えたり、薄切りにしたエリンギやスライスした人参、粉チーズをプラスして挟んだりしてもOK!
- ・土鍋に重ねた白菜を詰め合わせて入れ、日本酒またはワイン100ccを注ぎ、15分蒸し煮にすると鍋料理に。

材料(4人分)

- ◆ミルフィーユ
 - 白菜……………8枚(600g)
 - 豚バラ肉……………250g
 - 塩こしょう……………少々
 - 人参……………1本
 - しいたけ……………2枚
 - ブロッコリー……………1/2株
 - 水……………200cc
- A ねぎ(みじん切り)……………1本(50g)
- しょうゆ・酢・砂糖……………各大さじ2
- ごま油……………小さじ2
- ◆かき玉スープ
 - 白菜蒸し汁+水……………600cc
 - えのきたけ……………1袋
 - 青梗菜(小)……………1株
 - 卵……………1個
 - 塩……………小さじ1弱
 - しょうゆ……………小さじ1

作り方

- ◆ミルフィーユ
 - ①豚バラ肉は半分の長さに切り、軽く塩こしょうをふる。
 - ②人参は皮をむいて、7mmの厚さの輪切りに、しいたけは半分に、ブロッコリーは小房に分ける。
 - ③白菜1枚をまな板の上に置き、その上に豚バラ肉を広げて乗せる。半分量の豚バラ肉と白菜を交互に重ねて、手で軽く押しなじませ、4等分に切る。残りも同様に重ねて切る。
 - ④フライパンに③を並べ入れ、人参、しいたけも隙間に置き、水200ccを加えてフタをして火にかける。豚バラ肉に火が通るまで10~15分間蒸す。途中でブロッコリーも加え火を通す。
 - ⑤火の通ったミルフィーユを半分に切って皿に盛り付け、混ぜ合わせたAのねぎたれをかける。
- ◆かき玉スープ
 - ①えのきたけは根元を除き、半分の長さに切る。青梗菜は2~3cmの長さに切る。
 - ②白菜の蒸し汁と水を合わせた600ccとえのきたけを鍋に入れ、火にかけ沸騰したらアクを取ってから青梗菜を加え、塩としょうゆで調味する。
 - ③溶き卵を加えて、火を通す。

材料(4人分)

- 大根……………600g(2/3本)
- A 鶏がらスープの素……………大さじ1
- 水……………1カップ(200cc)
- エビ……………300g
- しめじ……………1袋
- ブロッコリー……………1/2株
- 生姜……………ひとかけ
- 塩こしょう……………少々
- 牛乳……………50cc
- 片栗粉……………大さじ1
- 水……………大さじ2
- ごま油……………大さじ1

作り方

- ①大根は皮をむいて1.5cm角に切り、耐熱皿に大根とAを入れ、ラップをしてレンジ(600w)で10分加熱する。
- ②エビは背中に切れ目を入れて、背ワタを取り洗って、水気をきる。
- ③生姜はみじん切りにし、しめじ、ブロッコリーは小房に分ける。
- ④フライパンに①の大根を汁ごと入れ火にかけ、軟らかくなるまで煮る。
- ⑤③を④のフライパンに入れ、火を通し、塩こしょうをふる。
- ⑥牛乳を加え、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ⑦最後にごま油を回し入れる。

大根とえびの中華風ミルク炒め



コメント

- ・大根に鶏ガラスープの素を振りかけてレンジで加熱すると、じゅくり煮込んだ『時短! 味シミシミ大根』に!

アレンジ

- ・エビをホタテ、タラ、鶏肉、豚肉、ハム、ウインナー、ベーコン等に代えても美味しいです。
- ・大根を蕪に代えたり、太ねぎ、人参、白菜、カリフラワーなどいろいろな野菜とも組み合わせたりして楽しめます。

健康散歩

带状疱疹

JA島根厚生連

近年、带状疱疹を発症する人が増加していますが、皆さんは带状疱疹がどういったものかご存じでしょうか。

带状疱疹の原因は、水疱瘡(みずぼうそう)の原因と同じ「水痘・带状疱疹ウイルス」です。初めてこのウイルスに感染した時は、水疱瘡として発症します。1週間程度で治りますが、治癒後もウイルスは神経節(末梢神経系の神経細胞が集まっている部分)内に潜伏します。加齢や、ストレス、病気などで免疫が低下するとウイルスが再活性化し、带状疱疹を発症するといわれています。特に50歳以上は带状疱疹の好発年齢です。

带状疱疹を発症すると、身体の左右どちらかに発疹や水疱が現れ、強い痛みを伴います。神経節に潜むウイルスが神経に沿って移動し症状を引き起こしますが、神経は全身に張り巡らされているため、様々な部位に症状が現れます。最も多くみられるのは胸から背中にかけてです。

また、顔面や眼の周囲も発症しやすい部位で、全体の半数以上が上半身に発症します。带状疱疹のほとんどは、早めに医療機関に受診し治療を受ければ(発疹が出てから



72時間以内に抗ウイルス薬を使うことが望ましいとされています)完治します。しかし、带状疱疹の治療が遅れた場合は、神経自体が傷つき、皮膚症状が治まった後も長期間にわたって痛みが続くことがあります。これを带状疱疹後神経痛といい、その痛みは極めて強いです。带状疱疹後神経痛を防ぐためにも、できるだけ早く治療を始めウイルスを抑えることが重要ですが、仮に皮膚症状が治まった後も痛みが続く場合は、医師に相談しましょう。

带状疱疹の予防として50歳以上を対象とした带状疱疹ワクチンの接種(予防接種)が推奨されています。予防接種をすることで免疫が強化され、発症をある程度予防することができ、仮に発症したとしても軽症で済むという報告があります。皮膚科などで接種できる場合があるため、50歳以上の方はワクチンの接種を検討するとよいでしょう(予防接種の対象者等は医師にご確認ください)。また、発症予防には免疫力を低下させないことが重要です。免疫力を低下させないことは、带状疱疹に限らず、様々な病気の予防にも大切なことです。食事や睡眠をしっかり取るなど規則正しい生活を心がけ、日々の体調管理に気をつけて過ごしましょう。

